



TKK 共通シラバス

1. 科目名	社会防災基礎 I				
2. 教員名	前林清和	3. 担当大学	神戸学院大学		
4. 対象学年	1年	5. 開講時期	前期木曜日1限	6. 単位数	2

7. 授業の目的・到達目標（神）、授業のねらい及び具体的な達成目標（工）、授業の概要（内容）・到達目標（東）					
<p>目的</p> <p>災害から人や社会を守るには、人々が命の大切さを知り、人や社会との絆を大切に社会に貢献しようという態度が求められる。本講義では、災害を最小限にとどめるためのWin-Winの社会を構築するためにはどのような思想が求められるかということについて多面的に学び、理解することを目標とする。具体的には日本人の災害に対する精神性を検討したうえで、被災者や支援者について論じ、災害時の支援の現状とあり方について、国際的視野も含めて考える。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) わが国の災害に関する人文的、社会的視点から全体を把握することができる。 2) 災害時の被災者の生活と心理について心理的に考察することができる。 3) 災害時の支援者についての課題を考えることができる。 4) 国際的な視野から防災と社会貢献について習得することができる。 					
8. 授業のキーワード（神）					
災害時の支援のあり方、災害時の精神性、支援、国際的視野					
9. 授業の進め方（神）、授業の方法（東）					
<p>講義を中心に進めるが、適時、学生の意見を聴きながら展開する。</p> <p>授業の最後にコメントカードを記入し、自分の考えをまとめる。</p> <p>映像や写真を駆使して、理解度を深める。</p>					
10. テキスト、参考書、指定図書（神）、教科書・参考書等（東）					
前林清和 『社会防災の基礎を学ぶ―自助・共助・公助―』 昭和堂 2400円（税別）					
11. 授業時間外に必要な学習（神）事前、事後に受講してほしい講義等（東）					
テキストの予習・復習					
12. 提出課題など（神）					
レポート					
13. 成績評価方法・基準（神）、成績評価方法及び水準（工）、評価の方法・基準（東）					
授業ごとの小レポート20%、レポート20%、確認テスト60%					
14. 履修するにあたって（神）、学生へのメッセージ（工）、授業時間外学習（予習・復習）・履修上の注意事項（東）					
積極的に取り組みましょう。					
15. 参考（オフィスアワー（工）等）					

【授業計画（神）（東）、授業計画及び準備学習（工）】

講義番号	主題	内容
第1回	ガイダンス	授業の概要、進め方、評価の方法。災害と命の大切さ
第2回	人間論1	日本人と自然観、災害観
第3回	人間論2	日本人の人生観や社会倫理観
第4回	心理論1	被災者の生活や心、被災した子どもについて
第5回	心理論2	被災者の時間経過と心理状態の変化、受援者のあり方
第6回	地域コミュニティ論	災害時の自助・共助・公助など
第7回	市民論	災害時に隣人、市民としての共助の意義
第8回	企業論・行政論	企業の災害支援活動、行政における災害支援
第9回	ボランティア論1	ボランティアの思想、災害ボランティアの心得
第10回	ボランティア論2	被災地に行く意義、リーダーシップなど
第11回	教育論	シティズンシップ教育、日本の災害時の弱点、防災教育
第12回	日本人論	阪神淡路大震災や東日本大震災における日本人の支援活動
第13回	国際論1	世界の災害、開発同上国の現状や災害リスクと開発
第14回	国際論2	国際防災協力、国際緊急援助隊など
第15回	まとめと確認	日本の災害における精神性と災害予防、対策、復興のレビュー

【コンピテンシー】※コンピテンシーについての詳しい説明は[こちら](#)。

（下記に、身につけることが期待されるコンピテンシーを5段階評価でご記入ください。
期待度が高いほうが5、低いほうが1です。）

